Quick調査レポート
「OTC類似薬（抗ヒスタミン薬）の自己負担額増加に関する患者調査」

2026年5月

株式会社インテージヘルスケア

intage

株式会社インテージヘルスケア

調査背景と目的

調査背景	政府はOTC類似薬を含む薬剤自己負担の見直しを進めており、2027年3月頃から、湿布や解熱鎮痛剤、抗アレルギー薬など77成分（約1100品目）について、薬剤費の4分の1を患者が負担する制度が導入される予定である。対象品目案に含まれる第二世代抗ヒスタミン薬について、服用経験のある患者を対象として、制度の認知度や受容度について調査した。
調査主体	株式会社インテージヘルスケア
調査手法	インターネット調査（TenQuick）
調査地域	全国
調査期間	2026年2月5日～2月12日
調査対象	➢ dポイントクラブアンケート（ヘルスケア）パネル ➢ これまでに、医療機関で花粉症（季節性アレルギー性鼻炎）と診断され、内服の第二世代抗ヒスタミン薬を処方されたことがある方
有効回答サンプル数	➢ 1167s

	男性	女性	**計**
20代	99s	97s	**196s**
30代	100s	100s	**200s**
40代	99s	100s	**199s**
50代	98s	100s	**198s**
60代	92s	100s	**192s**
70代以上	82s	100s	**182s**
計	**570s**	**597s**	**1167s**

ⓒ INTAGE Healthcare Inc.

調査結果サマリー

◆直近の処方薬について

✓内服の第二世代抗ヒスタミン薬を処方された経験がある花粉症患者の46%が、花粉症で医療機関を受診する前に市販薬の使用経験があったが、医療機関を受診した主な理由は、「医師に診断してもらいたかったから」（43%）、「医療機関で処方される薬剤の方がより効果がありそうだから」（40%）であった。

✓直近に処方された第二世代抗ヒスタミン薬について、71%が医師から1剤のみを提案され、その薬剤に決定していた。

✓90%が直近の処方薬をポジティブに評価しており、中でも「効果の実感」は59%で突出している。また直近の処方薬を3シーズン以上継続している患者が52%を占めている。

◆OTC類似薬の患者追加負担制度について

✓OTC類似薬の薬剤費の一部が患者の自己負担となる新制度について、”賛同できない”（「全く賛同できない」～「あまり賛同できない」の合計）は54%。また自身の処方薬が自己負担額増加の対象となった場合に”受け入れられない”（「全く受け入れられない」～「あまり受け入れられない」）患者はさらに多く62%にのぼった。

✓自身の処方薬が追加負担の対象となった場合に想定される主な対応は、「医師の判断に任せる」（35%）、「追加負担のない別の薬剤に変更したいと希望を伝える」（34%）、「追加負担があっても、同じ薬剤を継続したいと希望を伝える」（21%）。

考察

医師の診療による安心感やより強い効果への期待から医療機関での花粉症治療に繋がっており、治療満足度も高いことから、第二世代抗ヒスタミン薬に対する患者の自己負担額が増加したとしても、医療機関での治療から脱落する可能性は低いと考えられる。

薬剤選択は多くの場合医師に委ねられており、また同じ薬剤を継続処方している患者が一定数いることから、現状では特段の理由がない限り、自ら処方薬の変更を希望しない患者が多いと思われるが、自己負担額増加となった場合には変更を希望する可能性が示された。

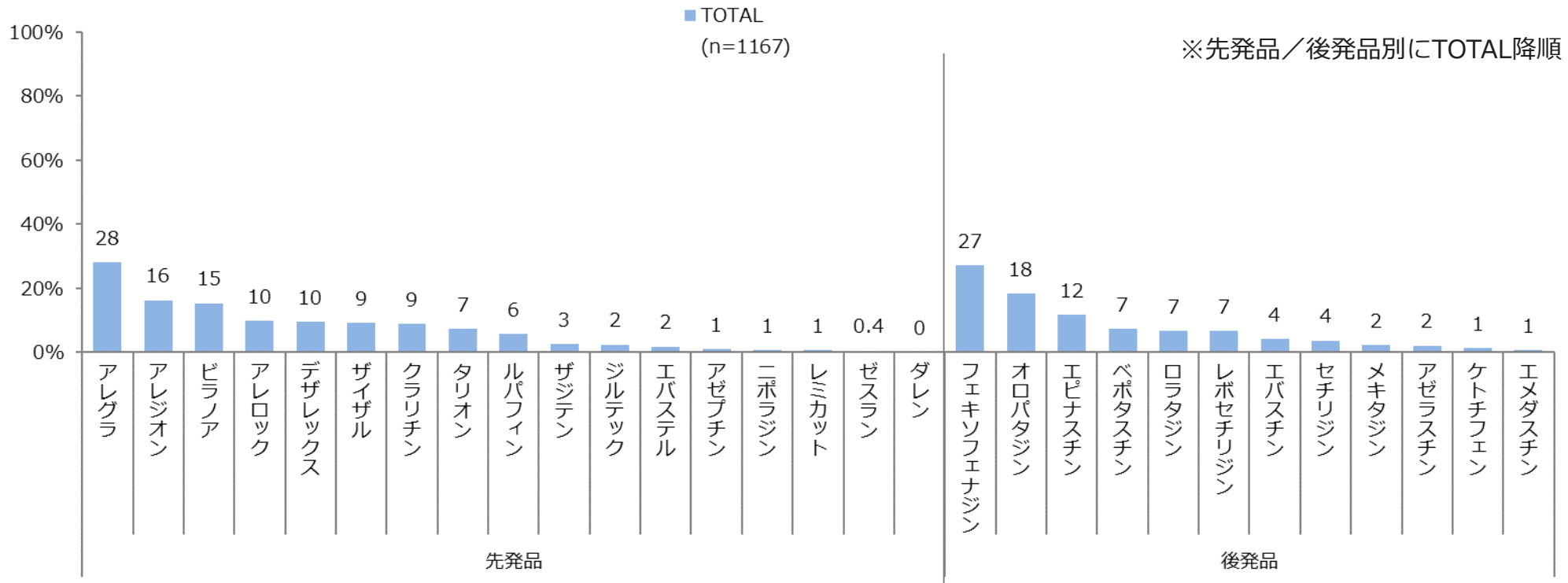
同テーマで行った医師調査においても、約6割が追加負担の生じない別の薬剤を患者に勧めたいとの結果となり、医師・患者双方の意向を踏まえると、追加負担のない別の薬剤への切替が一定数発生することが予想され、医療費削減効果は期待ほど得られない可能性がある。

ⓒ INTAGE Healthcare Inc.

調査結果詳細

ⓒ INTAGE Healthcare Inc.

医療機関で処方されたことがある内服の第二世代抗ヒスタミン薬



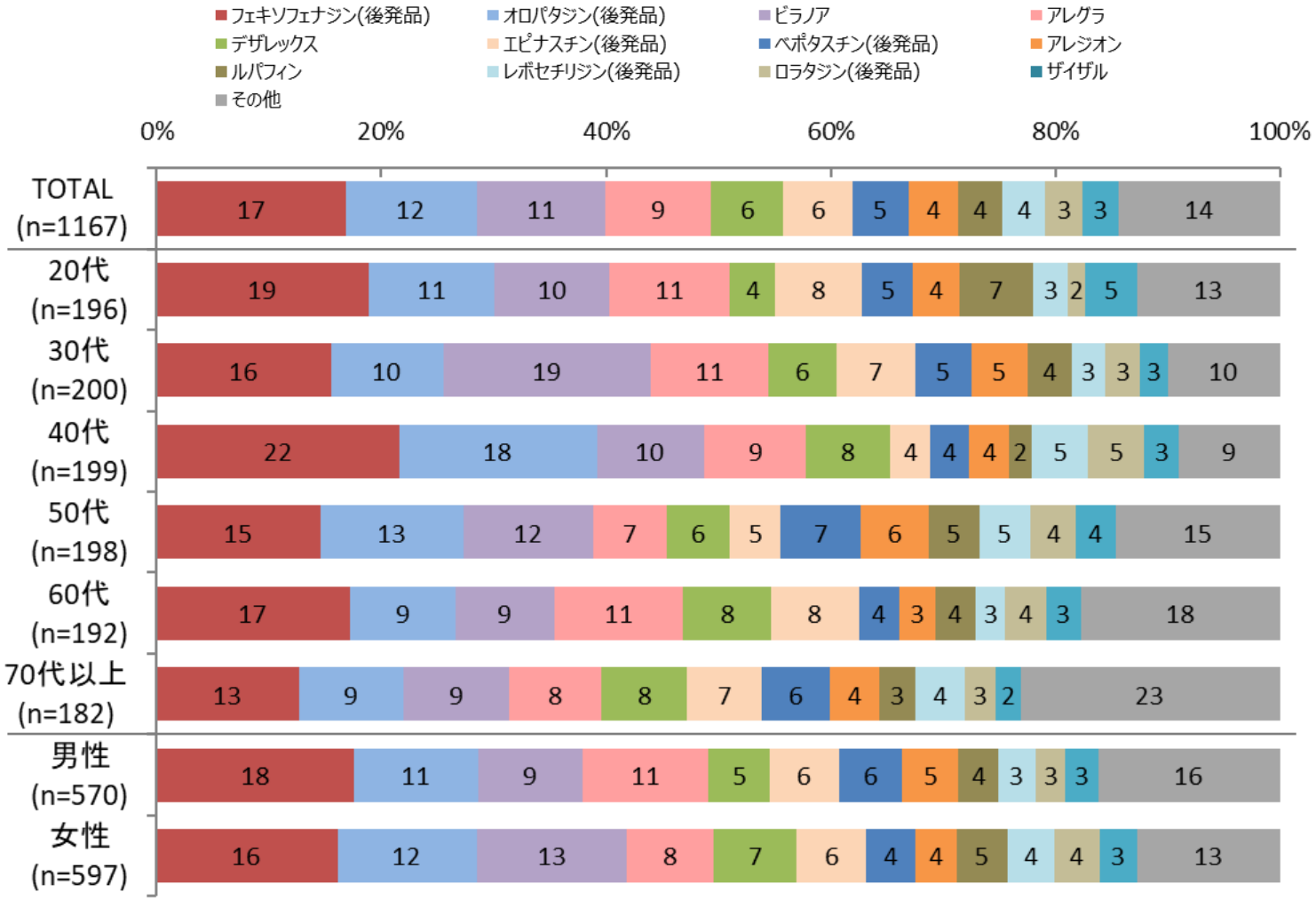
	アレグラ	アレジオン	ビラノア	アレロック	デザレックス	ザイザル	クラリチン	タリオン	ルパフィン	ザジテン	ジルテック	エバステル	アゼプチン	ニポラジン	レミカット	ゼスラン	ダレン
20代 (n=196)	28	18	17	8	8	8	5	6	8	1	1	0	2	0	0	1	0
30代 (n=200)	33	17	23	10	10	14	9	7	6	4	1	2	1	1	0	0	0
40代 (n=199)	30	17	14	14	13	12	10	8	3	2	5	1	1	1	1	0	0
50代 (n=198)	27	17	15	10	9	10	13	11	8	4	5	1	1	2	1	1	0
60代 (n=192)	29	16	12	11	8	6	11	6	5	4	2	2	2	1	1	1	0
70代以降 (n=182)	21	12	10	7	9	4	6	5	5	3	2	4	1	0	1	0	0
男性 (n=570)	29	16	12	8	8	8	8	6	5	2	2	2	1	1	0.4	1	0
女性 (n=597)	27	16	18	11	11	10	9	8	6	3	3	2	1	1	1	0.3	0

	フェキソフェナジン	オロパタジン	エピナスチン	ベポタスチン	ロラタジン	レボセチリジン	エバスチン	セチリジン	メキタジン	アゼラスチン	ケトチフェン	エメダスチン
20代 (n=196)	31	17	11	9	2	6	3	3	3	4	2	0
30代 (n=200)	31	16	13	7	6	7	5	3	2	2	1	1
40代 (n=199)	34	25	12	7	15	11	3	5	4	1	2	0
50代 (n=198)	24	20	11	10	7	8	5	6	1	1	2	2
60代 (n=192)	24	16	13	4	7	4	3	3	2	1	1	1
70代以降 (n=182)	17	16	11	7	4	5	7	3	2	4	2	2
男性 (n=570)	26	16	11	8	5	5	5	3	2	2	1	1
女性 (n=597)	28	21	13	7	8	8	3	4	3	2	2	1

S2.これまでに、医療機関で処方されたことがある花粉症の治療薬（飲み薬）をすべてお選びください。

© INTAGE Healthcare Inc.

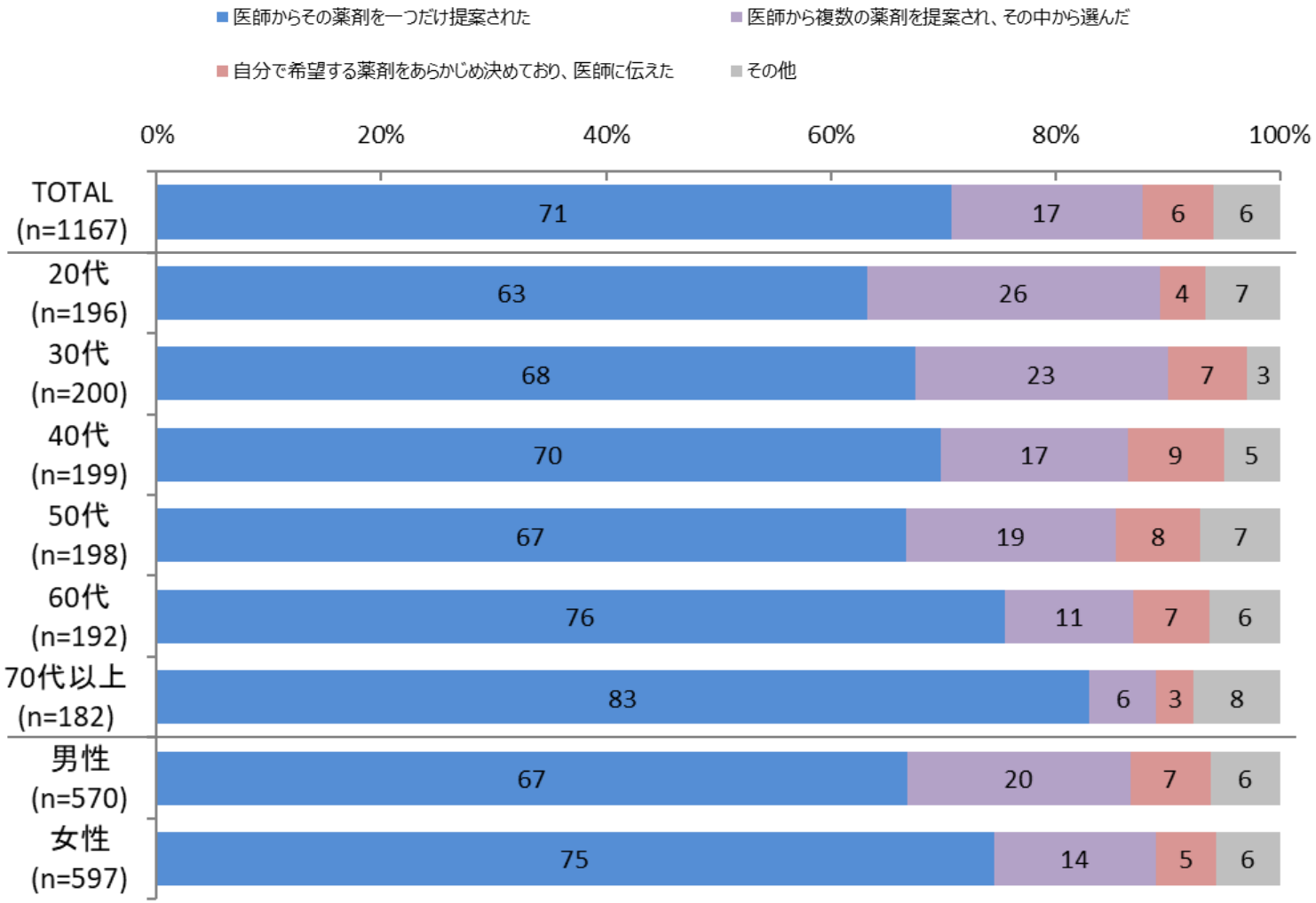
現在/直近に処方された内服の第二世代抗ヒスタミン薬



Q1.現在、医療機関で処方されている花粉症の治療薬（飲み薬）を一つだけお選びください。
現在、医療機関で薬を処方されていない場合は、直近に処方された薬をお選びください。（今シーズンに処方されていない場合は、昨シーズン以前でも結構です）

© INTAGE Healthcare Inc.

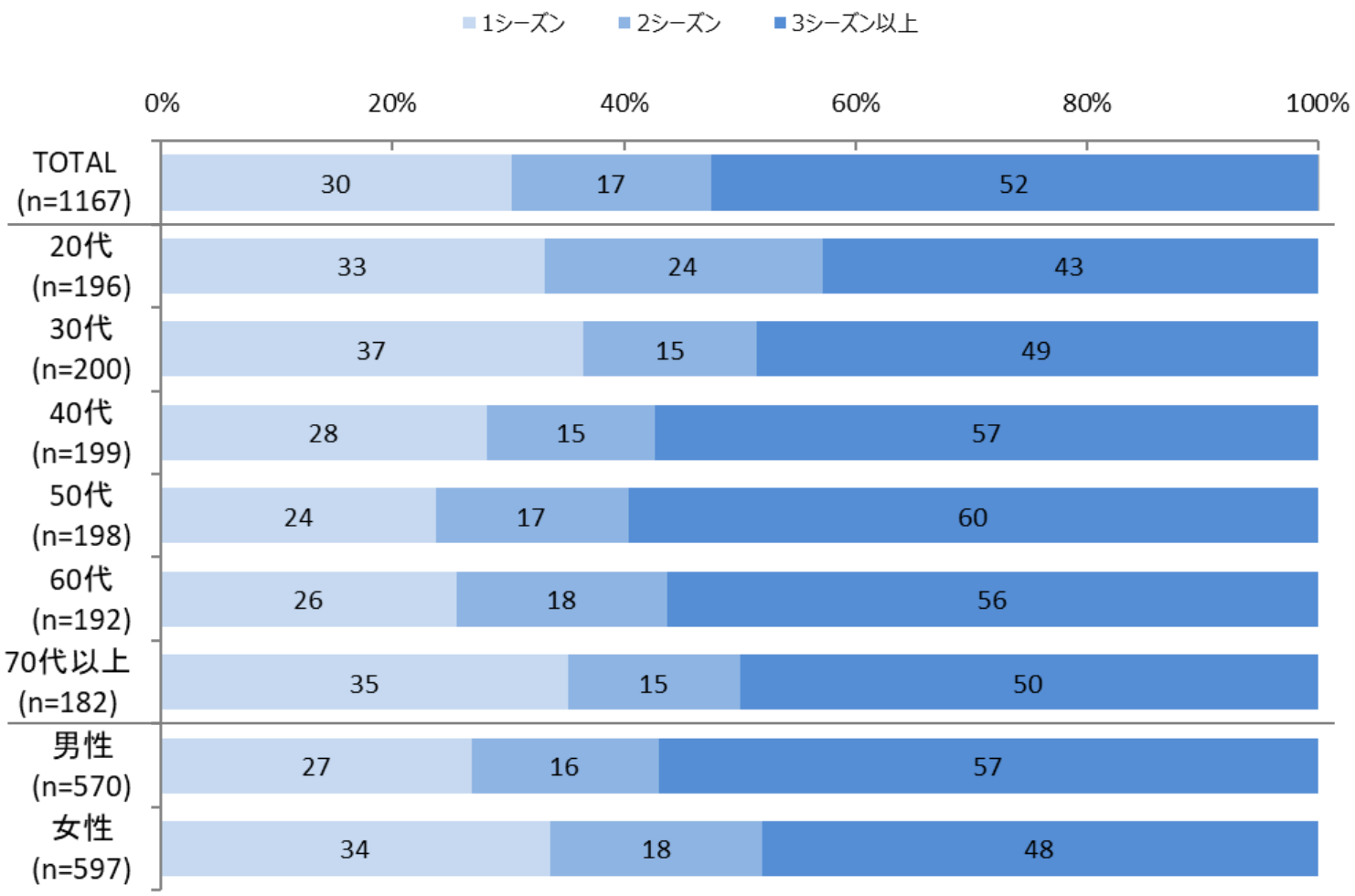
現在/直近に処方された内服の第二世代抗ヒスタミン薬の決定の経緯



Q2.現在処方されている（もしくは直近に処方された）薬剤を初めて処方された際、どのように決めましたか。
以下から最も近いものを一つお選びください。

© INTAGE Healthcare Inc.

現在/直近に処方された内服の第二世代抗ヒスタミン薬の使用期間

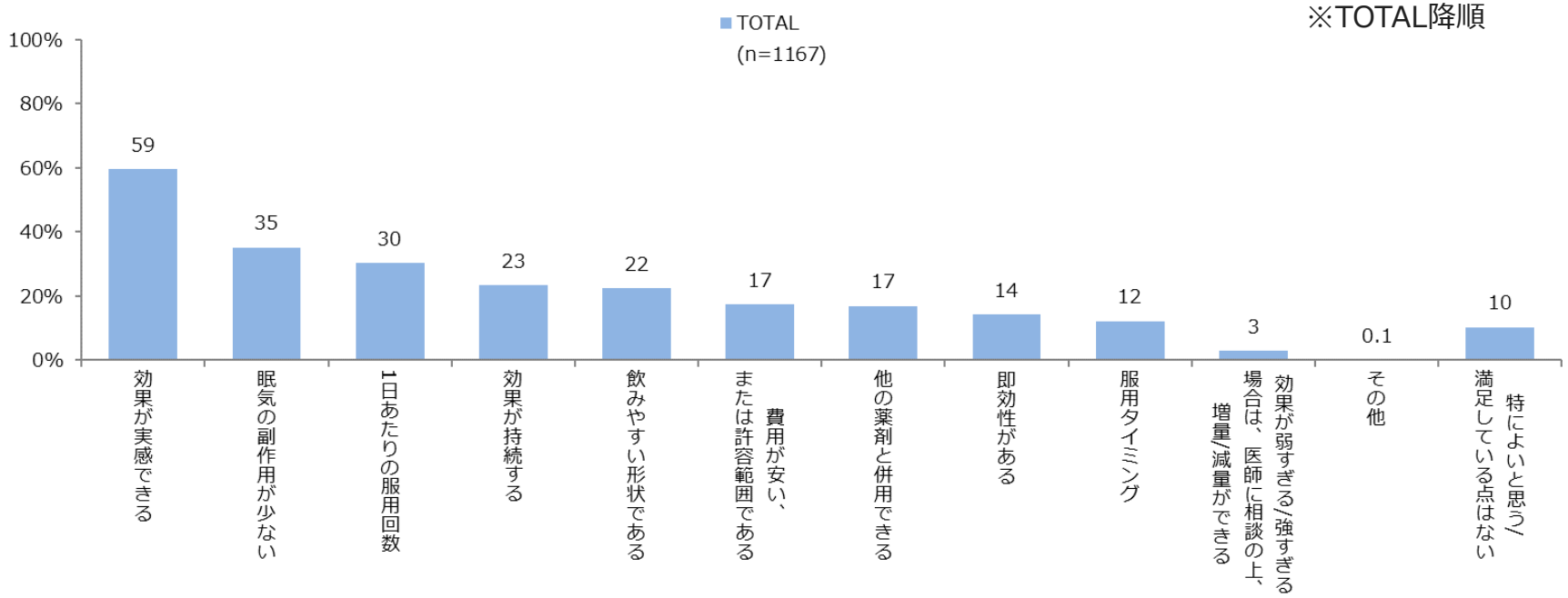


Q3.現在処方されている（もしくは直近に処方された）薬剤を、どのくらいの期間（何シーズン）使用していますか。（もしくは、しましたか。）

© INTAGE Healthcare Inc.

現在/直近に処方された内服の第二世代抗ヒスタミン薬の良いと思う/満足している点

※TOTAL降順

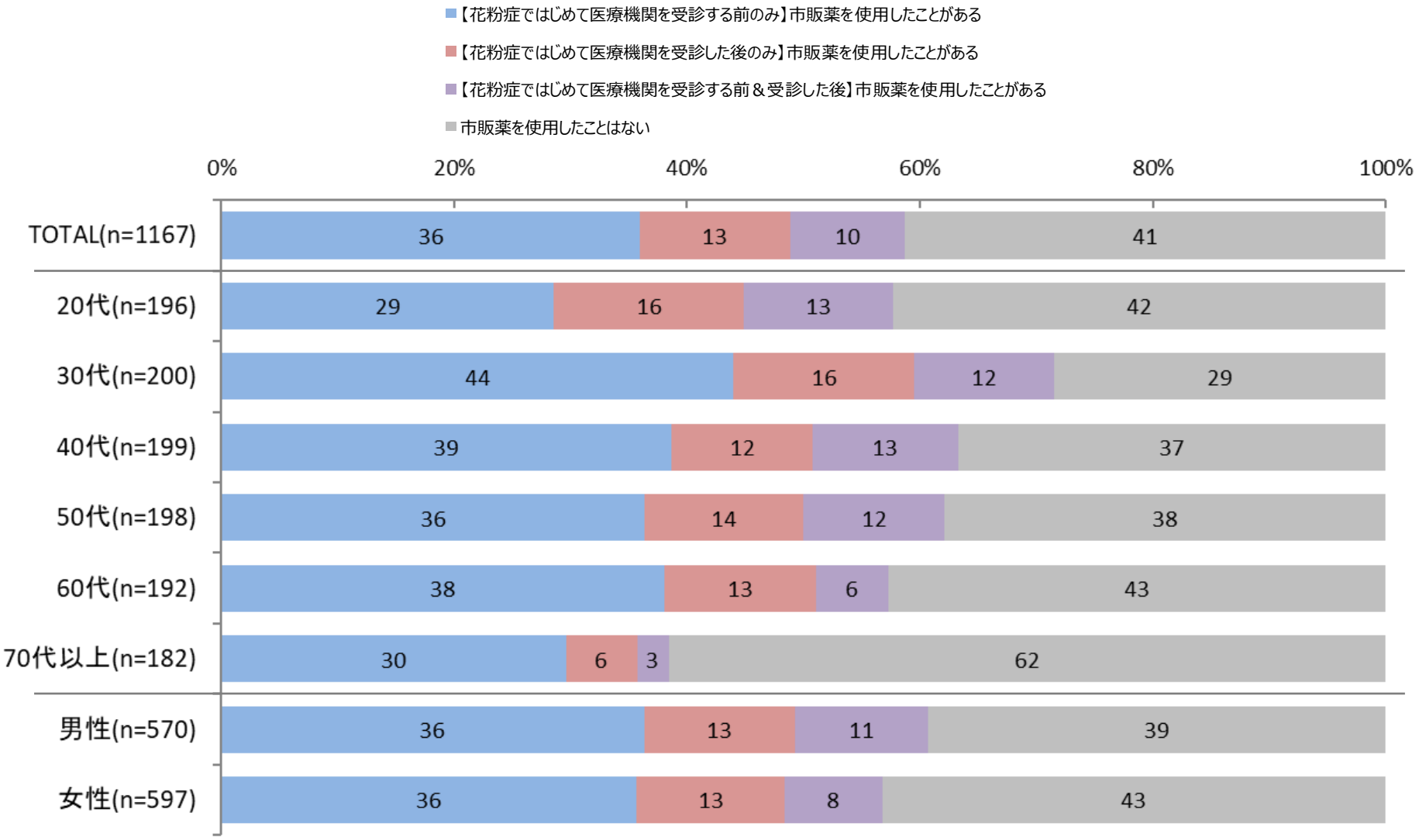


	効果が実感できる	眠気の副作用が少ない	1日あたりの服用回数	効果が持続する	飲みやすい形状である	費用が安い、または許容範囲である	他の薬剤と併用できる	即効性がある	服用タイミング	効果が弱すぎる/強すぎる場合は、医師に相談の上、増量/減量ができる	その他	特によいと思う/満足している点はない
20代 (n=196)	66	21	22	22	20	16	11	17	11	6	0	11
30代 (n=200)	59	34	24	27	17	16	15	16	15	3	0	16
40代 (n=199)	61	38	31	28	20	18	13	15	15	2	0	10
50代 (n=198)	57	36	31	17	17	14	13	10	10	1	0	13
60代 (n=192)	57	44	38	24	31	24	23	16	12	4	0	5
70代以降 (n=182)	57	37	37	23	30	15	27	12	10	1	1	7
男性 (n=570)	62	34	27	26	19	20	14	16	11	3	0	11
女性 (n=597)	57	36	34	20	26	15	20	12	13	3	0.2	9

Q4.現在処方されている（もしくは直近に処方された）薬剤のよいと思う点や、満足している点はありますか。
あてはまるものをすべてお選びください。

© INTAGE Healthcare Inc.

花粉症での市販薬の使用経験

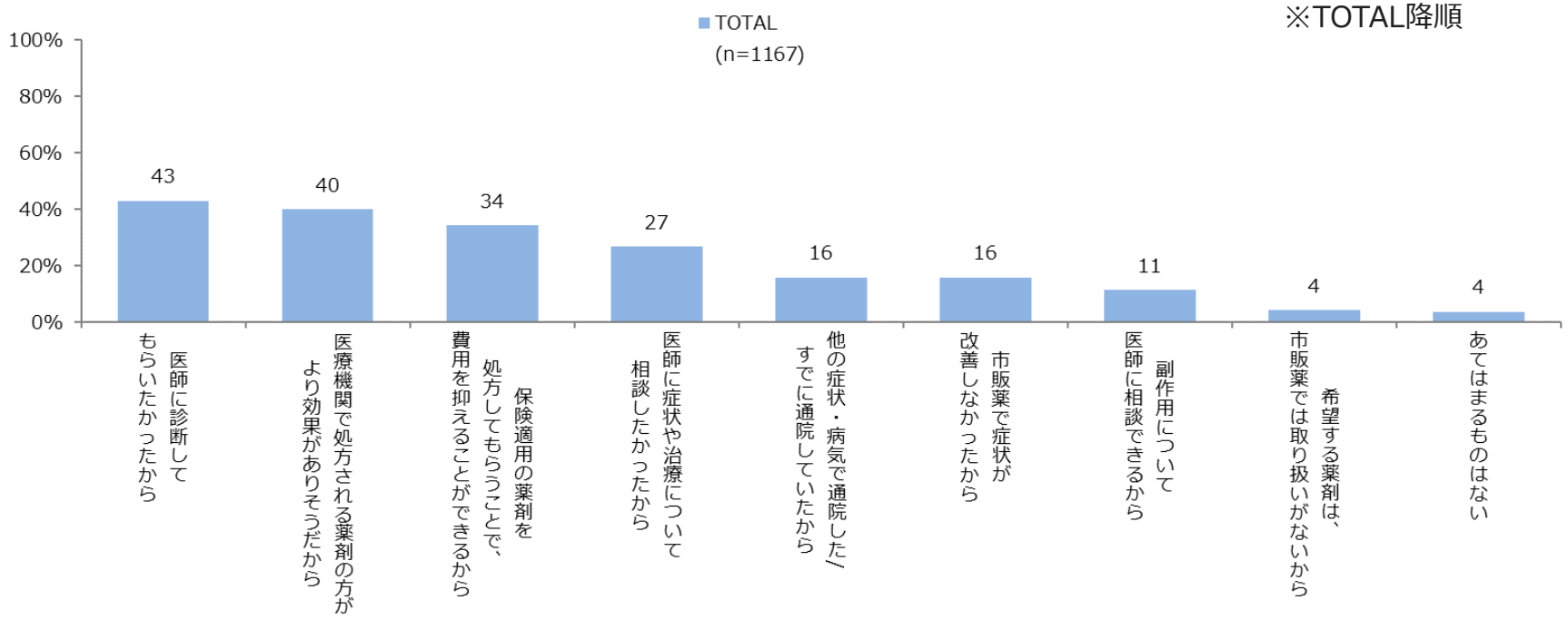


Q5.ドラッグストアなどで処方箋なしで購入できる、花粉症/アレルギー性鼻炎用の市販薬を使用したことがありますか。
あてはまるものをすべてお選びください。

© INTAGE Healthcare Inc.

花粉症で医療機関を受診した目的

※TOTAL降順



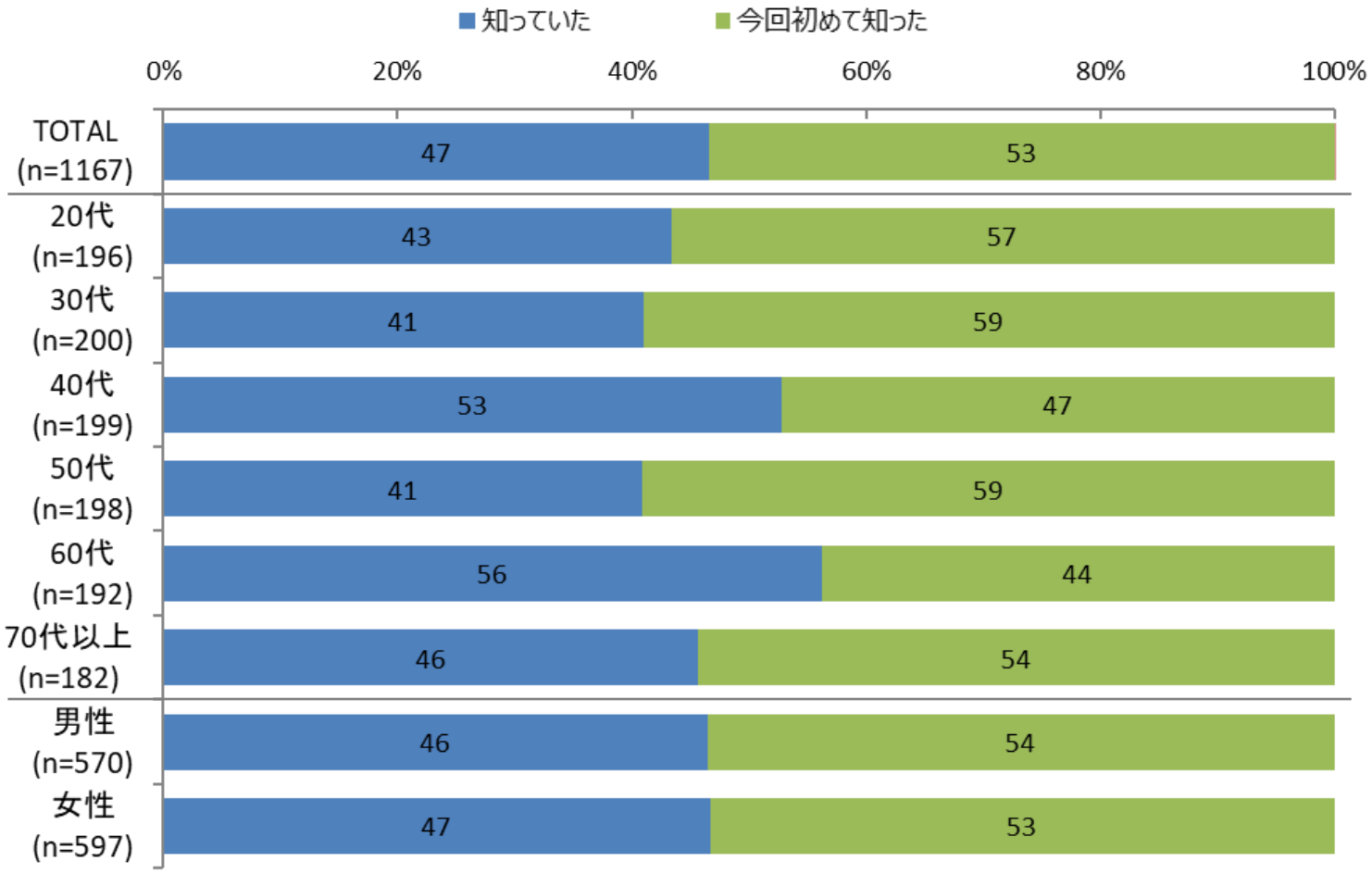
	医師に診断してもらいたかったから	医療機関で処方される薬剤の方がより効果がありそうだから	保険適用の薬剤を処方してもらうことで、費用を抑えることができるから	医師に症状や治療について相談したかったから	他の症状・病気で通院した/すでに通院していたから	市販薬で症状が改善しなかったから	副作用について医師に相談できるから	希望する薬剤は、市販薬では取り扱いがないから	あてはまるものはない
20代 (n=196)	45	40	23	23	7	17	11	3	5
30代 (n=200)	44	40	35	25	8	23	8	7	5
40代 (n=199)	40	43	30	21	14	20	10	5	4
50代 (n=198)	38	40	34	21	17	15	8	5	4
60代 (n=192)	45	37	42	30	24	11	11	4	2
70代以降 (n=182)	45	40	41	40	26	8	20	1	3
男性 (n=570)	45	36	31	27	13	15	8	4	5
女性 (n=597)	41	43	38	26	19	16	14	4	3

Q6.花粉症で医療機関を受診した目的（市販薬ではなく医療機関で治療しようと思われた理由）として、あてはまるものをすべてお選びください。

© INTAGE Healthcare Inc.

OTC類似薬の自己負担増額に関する新制度の認知

政府はOTC類似薬を含む薬剤自己負担の見直しを進めており、2027年3月頃から、湿布や解熱鎮痛剤、抗アレルギー薬など77成分（約1100品目）について、薬剤費の4分の1を患者さんが全額自己負担する制度が導入される予定です。
追加負担分を含む実質的な負担率は、これまで3割負担の場合→47.5%、2割負担の場合→40%、1割負担の場合→32.5%となる見込みです。

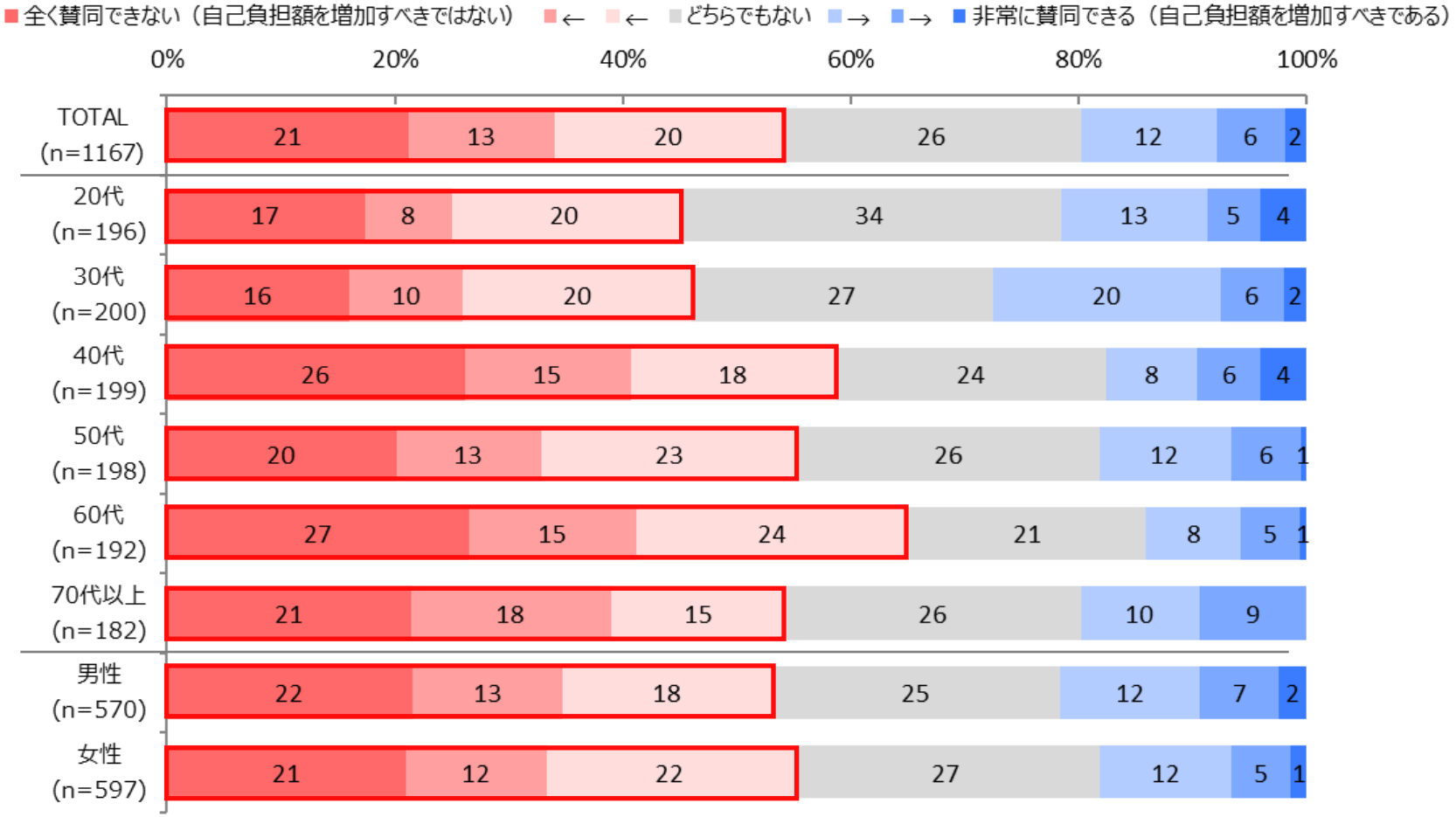


Q7.あなたは上記（OTC類似薬の自己負担額の増加）についてご存知でしたか。

© INTAGE Healthcare Inc.

OTC類似薬の自己負担増額に関する新制度への賛同度

政府はOTC類似薬を含む薬剤自己負担の見直しを進めており、2027年3月頃から、湿布や解熱鎮痛剤、抗アレルギー薬など77成分（約1100品目）について、薬剤費の4分の1を患者さんが全額自己負担する制度が導入される予定です。
追加負担分を含む実質的な負担率は、これまで3割負担の場合→47.5%、2割負担の場合→40%、1割負担の場合→32.5%となる見込みです。

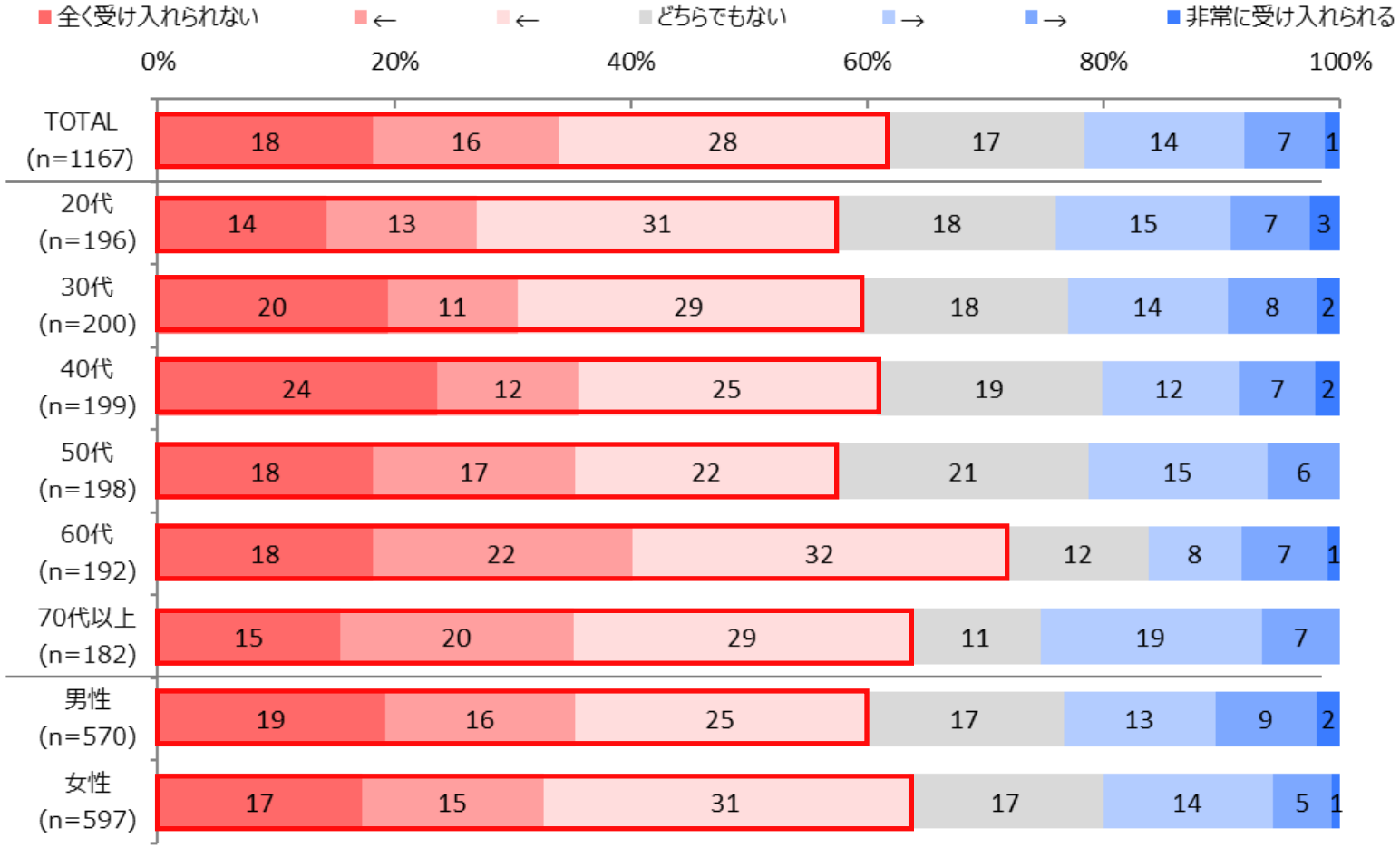


Q8.あなたは上記の導入予定の新制度について、どの程度賛同されますか。

© INTAGE Healthcare Inc.

自身の処方薬が増額対象となった場合の受容度

政府はOTC類似薬を含む薬剤自己負担の見直しを進めており、2027年3月頃から、湿布や解熱鎮痛剤、抗アレルギー薬など77成分（約1100品目）について、薬剤費の4分の1を患者さんが全額自己負担する制度が導入される予定です。
追加負担分を含む実質的な負担率は、これまで3割負担の場合→47.5%、2割負担の場合→40%、1割負担の場合→32.5%となる見込みです。

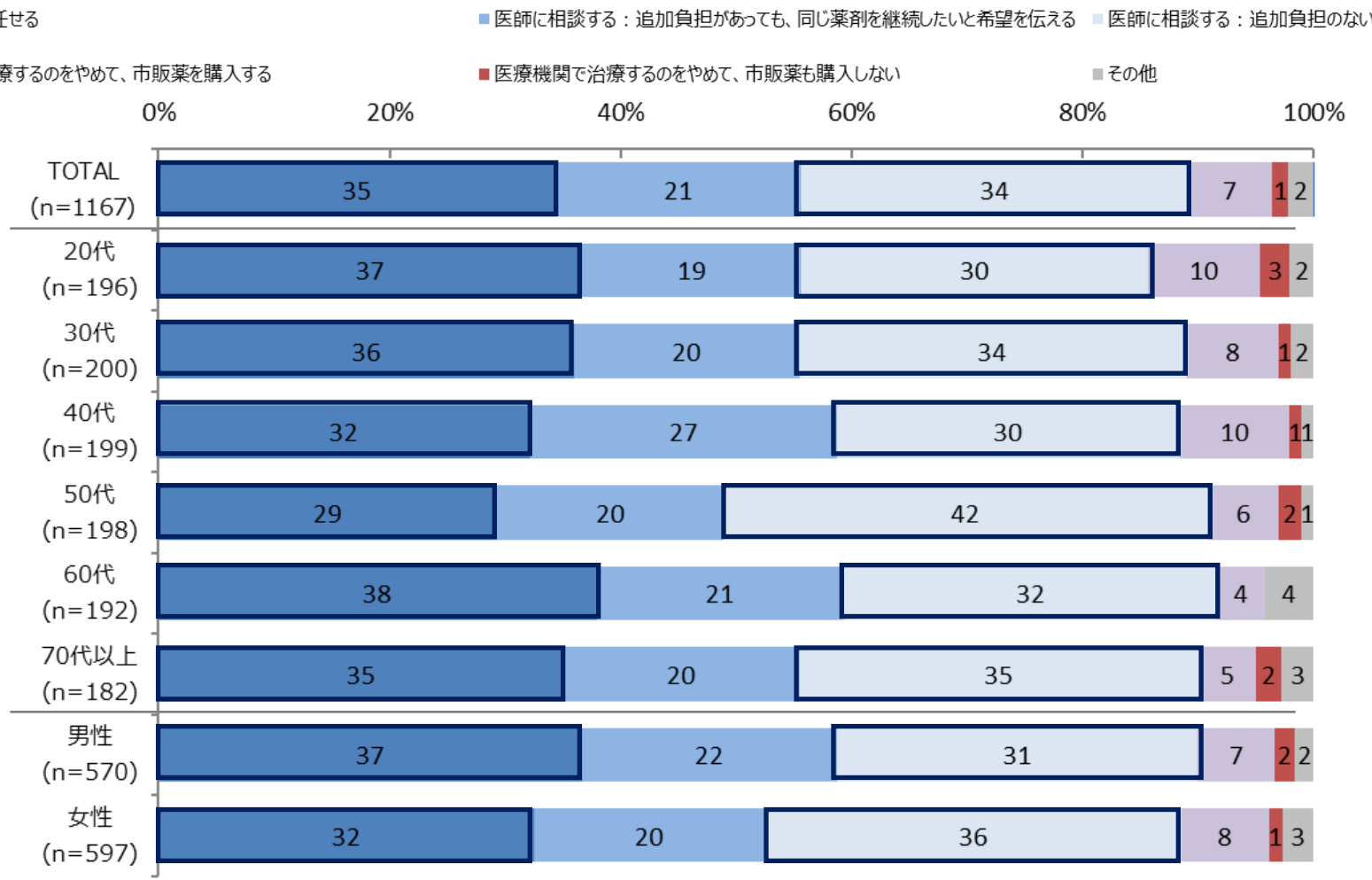


Q9.仮に、花粉症の治療のためにあなたが医療機関で処方されている薬が、上記制度で追加負担の対象となったとしたら、どの程度受け入れられますか。

© INTAGE Healthcare Inc.

自身の処方薬が増額対象となった場合の対応

政府はOTC類似薬を含む薬剤自己負担の見直しを進めており、2027年3月頃から、湿布や解熱鎮痛剤、抗アレルギー薬など77成分（約1100品目）について、薬剤費の4分の1を患者さんが全額自己負担する制度が導入される予定です。
追加負担分を含む実質的な負担率は、これまで3割負担の場合→47.5%、2割負担の場合→40%、1割負担の場合→32.5%となる見込みです。



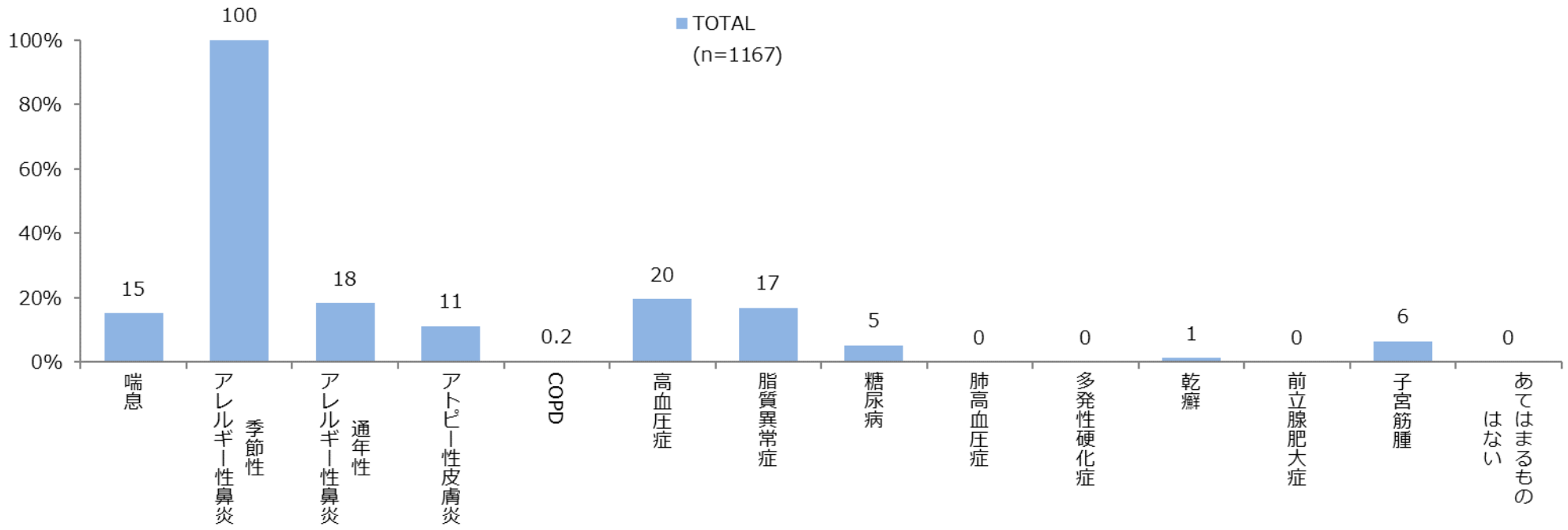
Q10.仮に、花粉症の治療のためにあなたが医療機関で処方されている薬が、上記制度で追加負担の対象となったとしたら、あなたはどうすると思いますか。以下から最も近いものを一つお選びください。

© INTAGE Healthcare Inc.

Appendix

ⓒ INTAGE Healthcare Inc.

今までに医療機関で診断されたことのある症状・病気

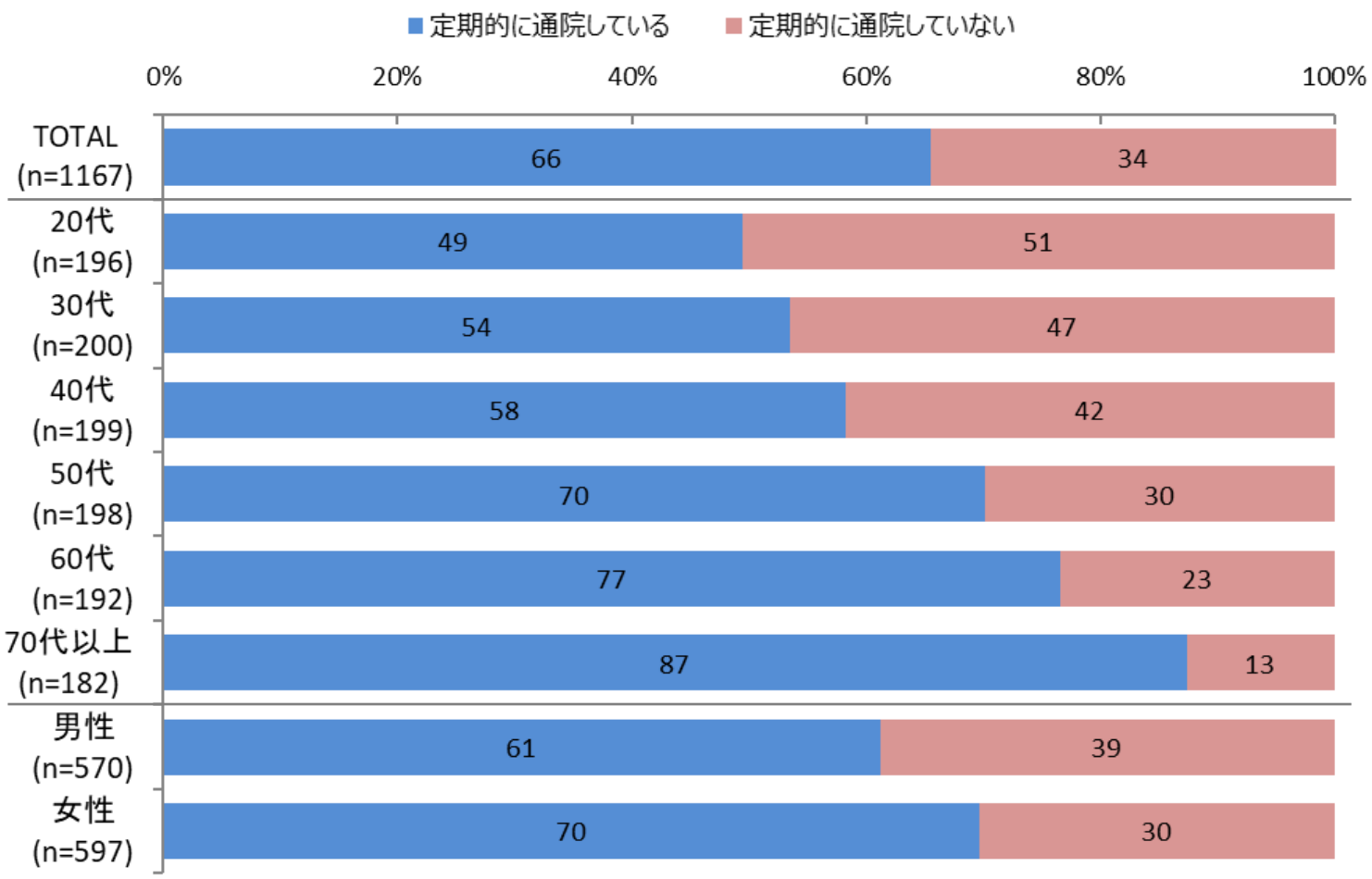


	喘息	アレルギー性鼻炎 季節性	アレルギー性鼻炎 通年性	アトピー性皮膚炎	COPD	高血圧症	脂質異常症	糖尿病	肺高血圧症	多発性硬化症	乾癬	前立腺肥大症	子宮筋腫	あてはまるものはない
20代 (n=196)	15	100	24	15	0	3	4	0	0	0	2	0	2	0
30代 (n=200)	17	100	23	14	1	5	3	2	0	0	0	0	4	0
40代 (n=199)	20	100	18	17	0	11	11	5	0	0	2	0	8	0
50代 (n=198)	17	100	19	10	0	24	20	7	0	0	2	0	9	0
60代 (n=192)	11	100	15	8	0	32	29	8	0	0	2	0	11	0
70代以降 (n=182)	11	100	11	2	1	46	37	10	0	0	2	0	5	0
男性 (n=570)	13	100	17	9	0.4	26	16	7	0	0	1	0	0	0
女性 (n=597)	17	100	20	13	0	14	18	3	0	0	2	0	13	0

S1.あなたが今までに医療機関で診断されたことのある症状・病気をすべてお選びください。

© INTAGE Healthcare Inc.

花粉症以外の症状・病気での医療機関への定期的な通院状況



Q11.最後に、医療機関への通院状況をお伺いします。
あなたは現在、花粉症以外の症状・病気で、医療機関に定期的に通院していますか。

© INTAGE Healthcare Inc.

intage 株式会社インテージヘルスケア

Healthier Decisions

我々は情報に命を与え、医療を享受する人、医療を提供する人、
健康を願うすべての人々が納得の選択をするための力となります